

瀬戸内市の古墳

前方後円墳を中心に

公益財団法人瀬戸内市歴史まちづくり財団

瀬戸内市には多くの古墳が残っています。^{ぜんぽうこうえんふん}前方後円墳が11基、岡山県指定史跡になっている古墳は4基。小さな円墳^{えんぶん}などを含めると、約500基の古墳が確認されています。

古墳とは、土を盛り上げてつくられたお墓のことを言いますが、代表的なものとして前方後円墳があります。形や大きさの違いが身分の違いや権力の大きさをあらわすと考えられています。

古墳に納められた^{ふくそうひん}副葬品は、埋葬された人物を知る手がかりとなります。瀬戸内市内の古墳から出土した鏡など重要な資料が、東京国立博物館に多く所蔵されています。

前方後円墳の出現により、古墳時代が始まります。前方後円墳が築かれた3世紀半ばから6世紀末までを、「古墳時代」または「前方後円墳時代」と呼びます。前方後円墳消滅後の7世紀も古墳は築かれますが、その時期の古墳を「飛鳥時代の古墳」または「終末期古墳」と呼びます。

瀬戸内市内の^{しゅちやうふん}首長墳（前方後円墳など、豪族と呼ばれるような地域の支配者である首長の墓）は、3つの地域グループとして分布しています。

◆長船北部グループ

（一部備前市を含む）

- 1 長尾山古墳（備前市）
- 2 花光寺山古墳
- 3 新庄天神山古墳（備前市）
- 4 鶴山丸山古墳（備前市）
- 5 船山古墳
- 6 油杉山古墳

◆長船南部グループ

- 7 土師茶白山古墳
- 8 築山古墳
- 9 牛文茶白山古墳
- 10 金鶏塚古墳
- 11 亀ヶ原大塚古墳
- 12 山崎7号墳（本坊山古墳）

◆牛窓グループ

（牛窓湾を囲む5つの前方後円墳）

- 13 牛窓天神山古墳
- 14 黒島1号墳
- 15 鹿歩山古墳
- 16 波歌山古墳
- 17 二塚山古墳

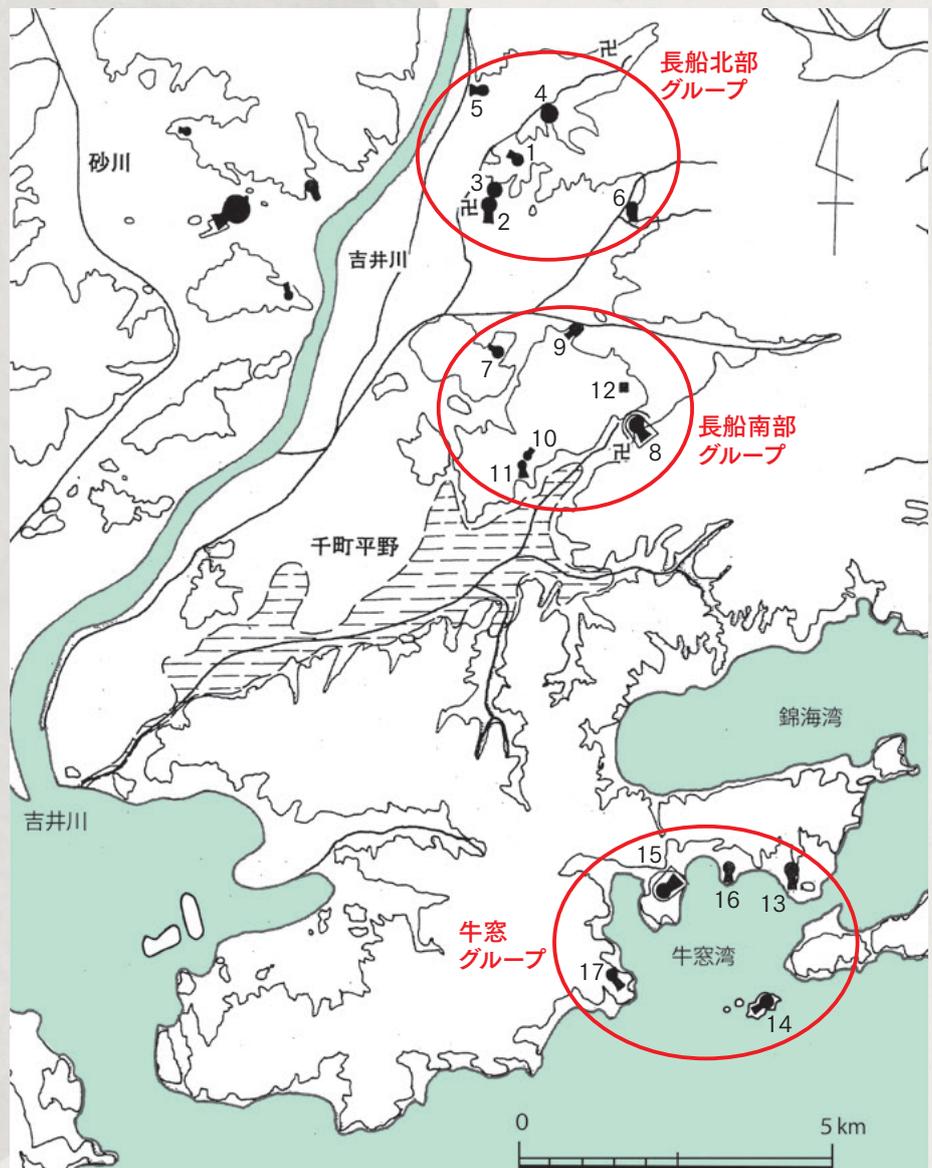


図1 瀬戸内市の古墳分布図（『邑久町史通史編』67頁の図をもとに作成）

船山古墳

● ふなやまこふん

長船町長船

前方後円墳 墳長約60m

5世紀末から6世紀初めごろ

後円部墳端付近に箱式石棺が確認されています。

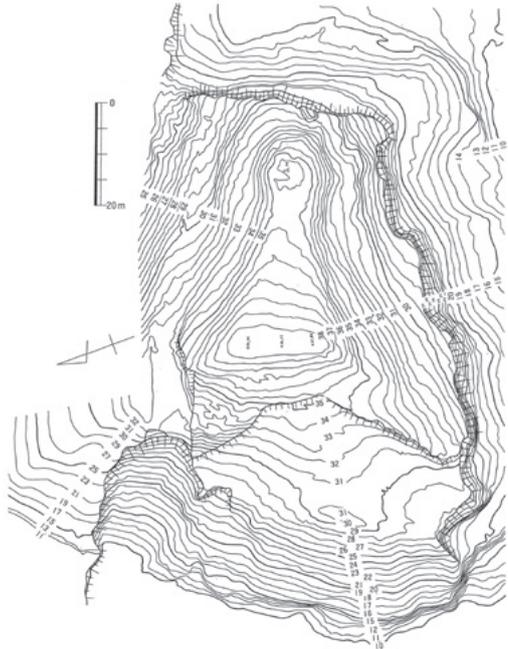
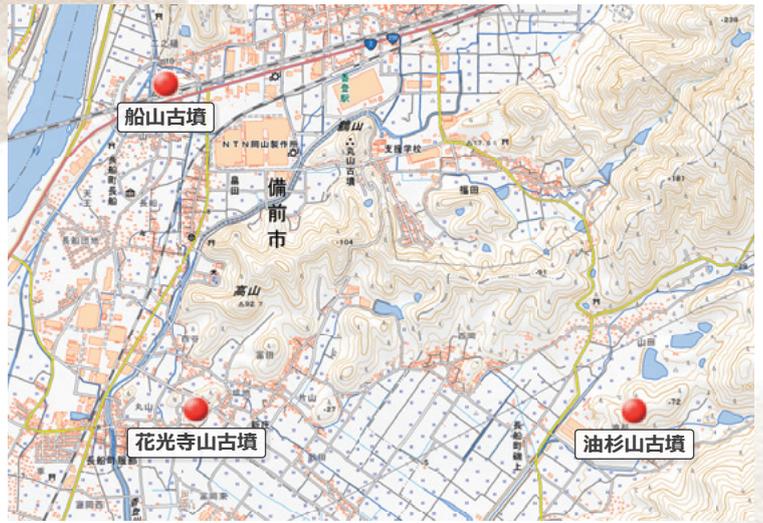


図2 船山古墳墳丘



位置図（国土地理院ウェブサイトの地図に古墳位置表示）

油杉山古墳

● ゆすぎやまこふん

長船町磯上

前方後円墳 墳長約32m

5世紀後半から6世紀前半ごろ

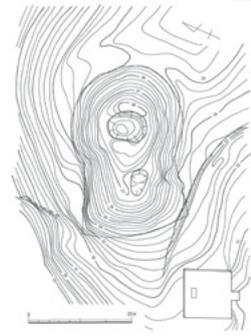


図3 油杉山古墳墳丘

花光寺山古墳

● けこうじやまこふん

長船町服部 岡山県指定史跡

前方後円墳 墳長約86m

4世紀中頃

後円部に長持形石棺が埋葬され、その前後の側室には内行花文鏡・三角縁神獸鏡・直刀・大刀・短剣・鉄斧などが納められていました。石棺は、播磨竜山石か讃岐鷲の山石を石材としているようです。



図4 花光寺山古墳墳丘



写真1 内行花文鏡



写真2 三角縁神獸鏡



位置図（国土地理院ウェブサイトの地図に古墳位置表示）

土師茶白山古墳

● はじちやうすやまこふん
 長船町土師 帆立貝形古墳
 墳長約32m 5世紀初めごろ



図5 土師茶白山古墳墳丘

牛文茶白山古墳

● うしふみちやうすやまこふん
 長船町牛文 瀬戸内市指定史跡

帆立貝形古墳 墳長約48m 5世紀末

石室から四神四獣鏡、小鈴付獅噛文帯金具、鉄刀などが出土しています。



写真3 小鈴付獅噛文帯金具

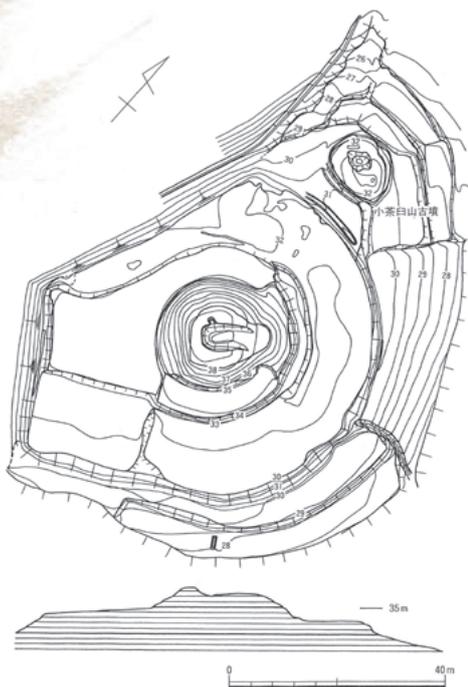


図6 牛文茶白山古墳墳丘



写真4 四神四獣鏡



写真5 牛文茶白山古墳

金鶏塚古墳

● きんけいづかこふん
 長船町西須恵

前方後円墳 墳長約35mと推定

5世紀末～6世紀前半ごろ

1894年、開墾時に墳形は著しく変形されていますが、遺物が出土し、大半が東京国立博物館に収蔵されています。出土遺物のなかでも青銅製の馬鐸は特に珍しく、被葬者の性格を考えるうえで貴重です。



写真6 馬鐸

築山古墳

●つきやまこふん

長船町西須恵 岡山県指定史跡

前方後円墳 墳長約82m 5世紀後半

瀬戸内市を代表する古墳です。地方の古墳としては珍しい二重周

濠がめぐり、古墳全体では全長約115mになります。後円部には竖穴式石室の一部が露出し、現在も家形石棺を観察することができます。石棺は、阿蘇の馬かどし門石、いわゆる「阿蘇ピンク石」が石材として使われており、同じ石材を使うヤマト王権や九州とのつながりうかがわせます。また、鏡など豪華な副葬品が発見されています。



写真7 築山古墳



図7 築山古墳墳丘



写真8 家形石棺



写真9 杏葉



写真10 神人龍虎画像鏡

亀ヶ原大塚古墳

●かめがはらおおつかこふん

長船町西須恵 前方後円墳 墳長約40m 6世紀後半ごろ

前方部に横穴式石室があります。須恵器生産に関わった首長の墓ではないかと考えられています。

周辺の古墳からは、多くの須恵質陶棺が見つかっています。



写真11 亀ヶ原大塚古墳石室

周辺の古墳から出土の陶棺



写真12 水落古墳陶棺



写真13 本坊山古墳陶棺



写真14 牛窓湾

鹿歩山古墳

● かぶやまこふん

牛窓町鹿忍 岡山県指定史跡

前方後円墳 墳長約84m 5世紀後半

周濠などを含めると100mを超える規模になります。



位置図 (国土地理院ウェブサイトの地図に古墳位置表示)

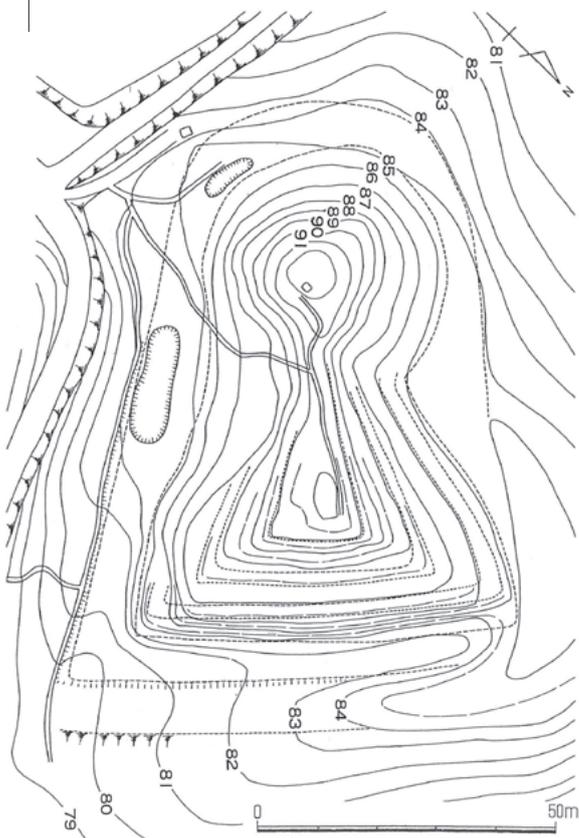


図8 鹿歩山古墳墳丘

二塚山古墳

● ふたつかやまこふん

牛窓町鹿忍 岡山県指定史跡

前方後円墳 墳長約55m

6世紀後半

583年、百済の日羅くだらを迎えに朝鮮半島に渡った、吉備海部直羽きちひのあまのあたひの墓である可能性を指摘する研究者もいます。

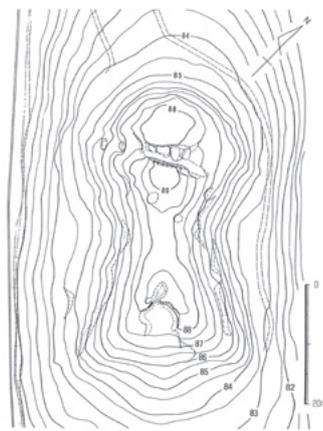


図9 二塚山古墳墳丘

牛窓天神山古墳

● うしまどてんじんやまこふん

牛窓町牛窓 瀬戸内市指定史跡

前方後円墳 墳長75~85m 4世紀後半

石室は香川県屋島産の石材で構築されていたようです。牛窓湾を取り囲むように分布する5基の前方後円墳のうち最初に築造された古墳です。

図10 牛窓天神山古墳墳丘



波歌山古墳

● はかやまこふん

前方後円墳 墳長約60mと推定

5世紀末~6世紀前半

1969年に墳丘が削られ、古墳は残っていません。

図11 波歌山古墳墳丘



黒島1号墳

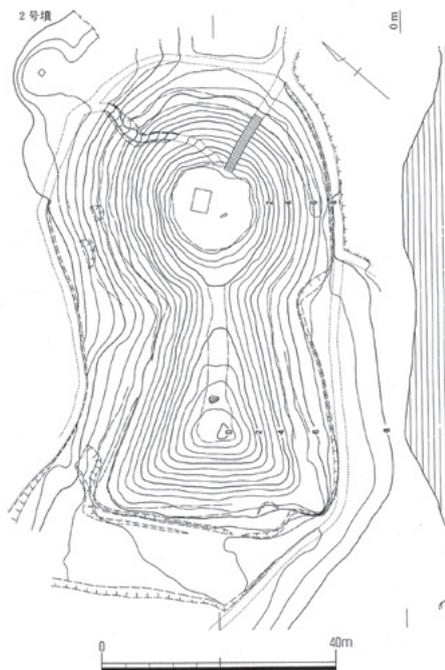
● くろしま1ごうふん

牛窓町牛窓 前方後円墳

墳長約81m 5世紀前半

詳細は不明ですが、5世紀前半の黒島1号墳の時代、牛窓グループの首長たちは朝鮮半島との関係が見られます。

図12 黒島1号墳墳丘



市内の古墳から 出土の装飾付須恵器



写真15 装飾付須恵器
(牛窓町鹿忍槌ヶ谷出土)



写真16 装飾付須恵器
(伝長船町磯上出土)

吉井川以東に位置する瀬戸内市の前方後円墳は、古代吉備地域のうち、吉備中枢部に次ぐ第3位の墳丘規模をもつ古墳群です。とくに、牛窓グループの古墳は、80～60m級の規模を維持しつづけました。この地には、ヤマト王権と朝鮮半島との外交実務を担った吉備海部直一族がいたとみられています。

古代の瀬戸内市は、海上交通の要衝、豊かな平野や森林資源、南北の河川交通など、豊かな資源と好条件を備えた地域でした。これらの古墳は、瀬戸内市域が、それだけの古墳を継続的に築くことができる経済力や、政治力をもった地域であったことを物語っています。



図13 古代の吉備（赤丸は前方後円墳が集中する地域）

■ 図・写真 出典

- 図2・3・5・6・7 『長船町史 史料編(上)』
- 図4 西川宏1986「花光寺山古墳」『岡山県史18 考古資料』
- 図8 近藤義郎1986「鹿歩山古墳」『岡山県史18 考古資料』
- 図9 近藤義郎1986「二塚山古墳」『岡山県史18 考古資料』
- 図10 原田悠希2021「牛窓天神山古墳の測量調査」『岡山市埋蔵文化財センター研究紀要』第13号
- 図11 高橋護1973「波歌山古墳」『岡山県埋蔵文化財報告』3
- 図12 弘田和司・古市秀治・森宏之1992「岡山県吉井川流域における古墳の展開(上)」『古代吉備』14
- 図13 総社市2010「シンポジウム『古代吉備の風景』」※一部加工
- 表紙写真 花光寺山古墳出土 三角縁神獣鏡(部分) 東京国立博物館所蔵・出典colbase (<https://colbase.nich.go.jp/>) ※一部加工
- 写真1・2・3・4・6・9・10・13・15 東京国立博物館所蔵・出典colbase (<https://colbase.nich.go.jp/>)
- 写真5・7・14 撮影：平岡壯一郎 写真8 『長船町史 史料編(上)』 写真11 『長船町の文化財』
- 写真12 資料所蔵・写真提供：瀬戸内市
- 写真16 資料所蔵・写真提供：岡山県立博物館

■ 主要参考文献

- ・牛窓町史編纂委員会編1997『牛窓町史 資料編Ⅱ』・2001『牛窓町史 通史編』牛窓町
- ・長船町史編纂委員会編1998『長船町史 史料編(上)』・2001『長船町史 通史編』長船町
- ・邑久町史編纂委員会編2006『邑久町史 考古編』・2009『邑久町史 通史編』瀬戸内市
- ・牛窓町教育委員会編2002『牛窓町古墳図』牛窓町
- ・長船町文化財保護専門委員会編2004『長船町の文化財』長船町教育委員会
- ・亀田修一2008「吉備と大和」土生田純之編『古墳時代の実像』吉川弘文館

■ 協力 亀田修一（岡山理科大学名誉教授）、岡山県立博物館、瀬戸内市

瀬戸内市の古墳 前方後円墳を中心に

発行日 2024年3月

編集・発行 公益財団法人 瀬戸内市歴史まちづくり財団

岡山県瀬戸内市牛窓町長浜 5092 TEL 0869-24-7788 FAX 0869-24-7008

